

くすぶり行政マンの街歩き研修

あなたの町の若手行政マンは元気ですか？楽しく仕事をしていますか？慣れない業務に追われ、地域住民にも追われ、自身のプライドにも追われ、、落ち込んだり、無気力だったり、休んでしまったり、くすぶっていませんか？私は20年におよぶ地域活性の現場で、そんな若手職員の姿を見てきました。この企画は、わずらわしい座学による行政職員セミナーではありません。楽しみながら地域の魅力だけでなく、自分自身を見つけていく、報告書も無い、体一つでできるレクリエーション研修です。町と一緒に歩くことで、“行政職員の仕事活力の向上”を図ります！

企画STEP

◆打ち合わせ
アンケート等で
コースを設計

◆街歩きツアー
1～2万歩を目指します
終了後は魅力選挙

◆レポート
この町のバス
ト5を提出

↑行政マンの参加はこの日のみ



料金 10万円～（税別）※実施日の交通・宿泊費のみ別途

オプション 動画撮影・編集 10万円～（税別）

HOST

ケニー中村（中村 健太郎）

プロレスレフェリー歴18年・自治体地域活性コンサル歴20年

1977年山口県山口市出身。NPO法人九州プロレス・現役レフェリー。1999年格闘探偵団バトラーツに入門し、同年選手デビュー。リングネームは「アーバン・ケン」。2001年、試合中のケガで引退。2008年九州プロレス旗揚げ戦にてレフェリーデビュー。九州プロレスをはじめ、様々な団体でレフェリングしている。

また2006年より、自治体の地域活性・地域づくりのコンサルタントとして各地の観光振興、特産品開発、人材育成に従事。2025年は大阪・関西万博の催事パビリオンWASSEのディレクターとして活動する。

メール info@nashitama.jp



街歩きで、くすぶり行政マンの“健康”を目指す

健康とは

こころの健康

気持ち・やる気の醸成

からだの健康

病気・ケガ予防・不眠解消

あたえる健康

笑顔・会話・人間味

街歩きで得られる成果とは？

街を知る

街を歩いて観ることで、これまでの業務は気づかなかつたこの地域ならではの魅力・強みを発見できます。



住民とふれあう

街で住民と会話することで、人間関係を築くとともに、地域の人に自分のことを知ってもらえます。



仕事活力の向上



健康なからだ

歩いて呼吸することで、デスクワークで鈍った身体に新しいエネルギーを注入し、元気な肉体を取り戻します。



思考力の向上

歩きながら物事を考えたり、会話することで、新しいアイデアやロジックが整理でき、考えがまとめられます。

地域のアキレス腱、固めます。

合同会社なしたま

名称	合同会社なしたま
本社	福岡市博多区竹下5-9-10-401
設立	2022年11月30日
代表社員	中村 健太郎
従業員数	2名(2022年12月現在)
事業内容	自治体マーケティング・地方創生サポート 飲食・食品産業の運営 プロレスリングの興行サポート NPO法人九州プロレス 所属レフェリー
連絡先	090-2147-8215 info@nashitama.jp



中村健太郎 プロフィール

1977年山口市出身。2007年より、福岡を拠点に15年に亘って、九州各地の自治体で地域活性・地域づくりに携わる。観光プロモーション・観光コンテンツの開発・特産品の開発・人材育成など、訪問サポート地域は120地域を超える。2022年より、拠点を東京に移し、東京都の観光振興業務にも従事する。また、NPO法人九州プロレスの所属レフェリーの顔を持ち、九州各地にプロレスを通じた元気を届けている。元プロレスラー。



実績例／これまで120を超える地域で地域活性をサポート！

「後世に残したい店支援キャンペーン」企画/制作業務／佐賀県産業政策課

佐賀県内で後継者不足を課題とする飲食店小売店の後継者マッチングを支援

少子高齢化・後継者不足による小規模店舗の廃業が顕著となる佐賀県において、新型コロナウイルス感染拡大は、それに拍車をかける形となる。その中で、佐賀県において、これら後継者不足を課題とする店舗に対して、事業承継・M&Aへの理解と推進を図るために、店舗への誘客プロモーションと後継者マッチング事業を実施する。県民から候補店を募集し、委員会による店舗選定と取材を実施。WEBでの誘客プロモーションと並行して、オンラインでの後継者マッチングイベントを開催する。



多久市日本遺産登録に向けた計画策定業務／文化庁・多久市教育委員会

文化庁が認定する日本遺産への登録に向けた計画策定・地域体制を構築

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」とし、全国で約100カ所を認定している。その中で、多久市において、地域に根強く残る全国的にも珍しい論語文化を活用し、地域振興・観光振興に向けた活用施策の構築と地域住民への理解と連携促進、子どもたちへの伝承も踏まえた論語イベントなどを計画することで日本遺産への申請登録をサポートする。国内だけではなく海外へも戦略的に情報を発信していくことで、観光誘客をはじめとする地域の活性化を目指す。



松浦市アジフライを核としたインバウンド向け観光コンテンツ磨き上げ事業／長崎県松浦市

アジフライの町で地域振興を図る松浦市で、新たな商品開発と外国人PRを実施

日本一のアジの水揚げを誇る長崎県松浦市内には、松浦産のアジをつかった肉厚のアジフライを提供する飲食店が多い。そこで料理研究家と連携し、新たなアジフライメニューの開発を地元飲食店と行った。加えて、松浦漁港や地元漁師、メニュー開発を行う飲食店と連携した外国人向け(台湾・韓国・香港・欧米出身者向け)2泊3日の旅行プランを造成し、モニターツアーを催行。アンケートと振り返り会を持って、松浦市の外国人誘客における検証を行う。

